

つながり

大上好久

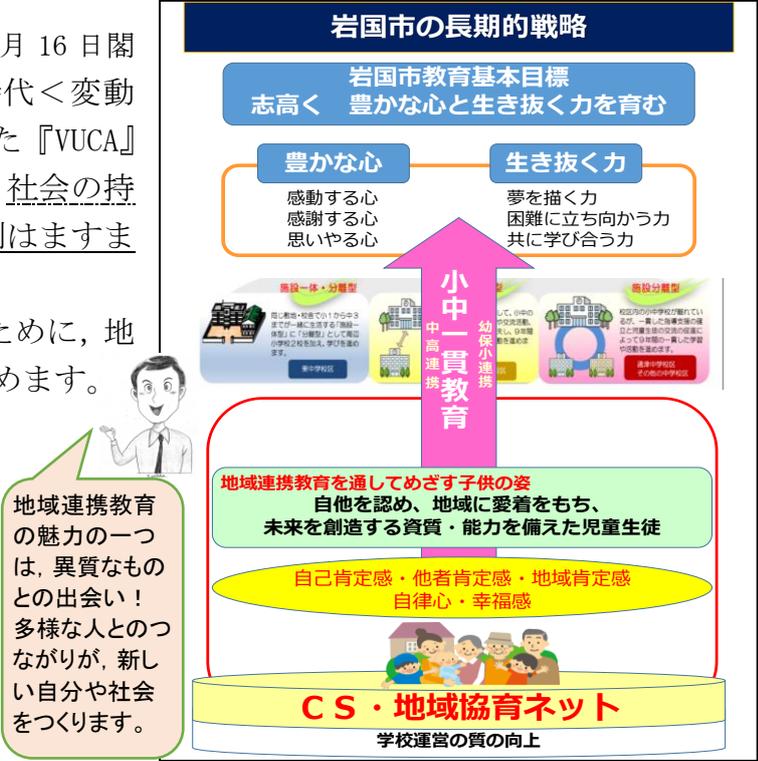
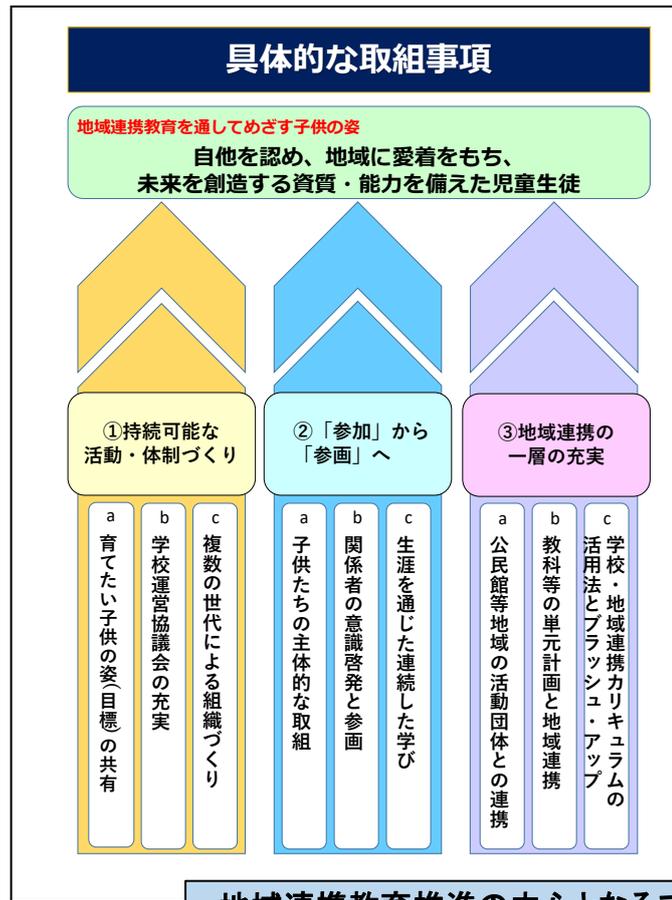
令和6年4月15日発行 Tel:29-5210 Fax:21-3456



地域連携教育は 共に学び 支え合う 社会をつくる！

文部科学省は、教育振興基本計画(令和5年6月16日閣議決定)の中で、「現代は将来の予測が困難な時代<変動性、不確実性、複雑性、曖昧性の頭文字を取った『VUCA』の時代>である。一人一人の豊かで幸せな人生と社会の持続的な発展を実現するために、教育の果たす役割はますます大きくなっている。」と述べています。

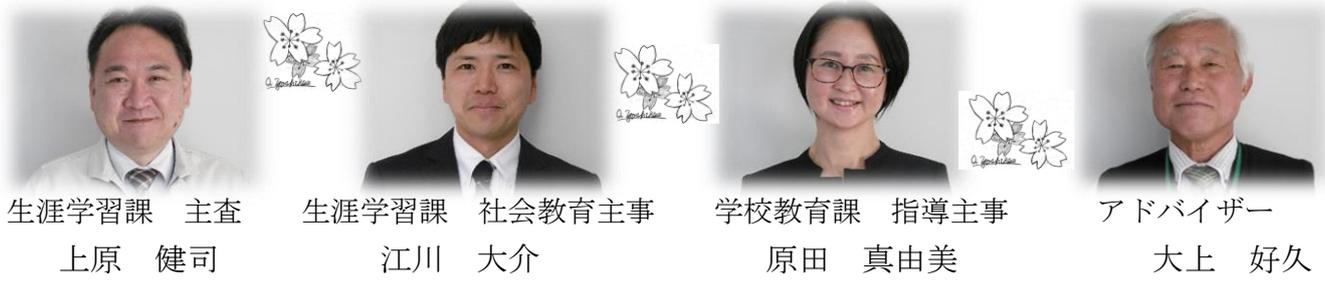
岩国市教育委員会では、この課題を解決するために、地域連携教育を通して、下記の具体的な取組を進めます。



地域連携教育の魅力の一つは、異質なものととの出会い！多様な人とのつながりが、新しい自分や社会をつくります。



地域連携教育推進の中心となるスタッフ4名です。よろしくお願いします。





教職員と地域住民がともに笑顔になった！

文部科学省は、小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総則編 第3章第5節2「家庭や地域社会との連携及び協働と学校間の連携」の中で、「学校がその目的を達成するためには、家庭と地域の人々とともに児童を育てていくという視点に立ち、家庭、地域社会との連携を深め、学校内外を通じた児童の生活の充実と活性化を図ることが大切である。」と述べています。

本号では、地域住民が、学校の困り感を自分事として受けとめ、新1年生の生活支援を積極的に行っている高森小学校を紹介します。



生活支援が実現するまでの流れ ～2023年度から開始～

- ① 「新入生が早く学校生活に馴染んで、毎日喜んで登校してほしい。しかし、担任一人では対応が非常に難しい。」という校長の訴えに、民生委員児童委員協議会や社会福祉協議会が共感し、立ち上がる。
- ② 学校が生活支援のお願いパンフレット(参加希望表付き)を作成し、社会福祉協議会に手渡す。
- ③ 社会福祉協議会が参加希望表を取りまとめ、学校に提出する。
- ④ 学校が、日時や支援内容等を盛り込んだ詳しい参加一覧表を作成し、参加者に配付し、支援を開始した。

入学式の次の日から、約2週間にわたってお世話になりました。子供たちの安心や安全が保たれ、学びが充実したものとなりました。1年生なりに地域の方々の有難さを感じたと思います。 <校長>



お話聞いてくれる？ 僕はね……。 <子供>

この袋、どこに置くのかわからないよ。 <子供>

うんうん。なるほど。 <地域住民>

寒かったけど、トイレの使い方、よくわかったね。 <子供>

どこだと思っかな。 <地域住民>

自分を含めほぼ高齢者の中で生活しているので、新1年生と身近に接し、こちらが元気をもらいました。 <地域住民>

新入生を受け持つ先生が如何に大変かよわかりました。少しでもお役に立てたなら嬉しいです。 <地域住民>

ランドセルが大きいね。頑張っ！ <地域住民>



ランドセルの片づけ、提出物、トイレのお世話、活動の遅れがちな子供への優しい言葉かけ等、有難い一言です。感謝しています。 <学級担任>



教師も地域住民も本音(弱み)を出し合い、具体的な活動を通して、楽しみながら課題の解決に取り組んでいました。共に子供の成長を喜ぶ姿が印象的でした。



地域ので学校が 学校ので地域が 共に元気に !!

文部科学省は、教育振興基本計画の中で、「教育政策の持続的改善のための評価・指標の在り方」を次のように示しています。「教育政策は、他の政策分野と比較して、成果が判明するまでに長い年月を要するものが多いこと、成果に対して家庭環境など他の要因が強く影響している場合が多く、政策と成果との因果関係の証明が難しいものが多いことなどの特性がある。数値化できるデータ・調査結果のみならず、数値化が難しい側面（児童生徒の課題、保護者・地域の意向、過去の実績等）についても可能な限り情報を収集・分析し、総合的に判断して取り組むことが求められる。」

本号では、岩国市教育委員会が、令和5年度末に行った「地域連携教育に関する調査・アンケート」の集計結果の一部を紹介します。この資料を見て、多様な方と対話することで、これからの岩国市の教育政策や教育実践の充実につながっていけばと思います。

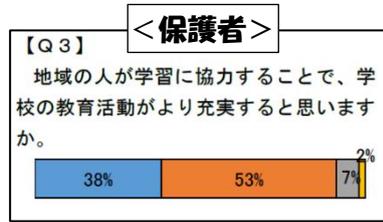
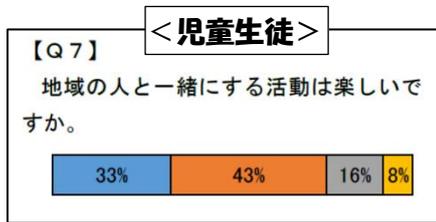


令和5年度 岩国市地域連携教育に関する調査・アンケートより

A【調査対象】市内全ての小学6年生、中学3年生（回答者数1846人）

【調査対象】市内全ての小学6年生・中学3年生の保護者（回答者数1432人）

【調査対象】各中学校区の地域住民（回答者数223人）



B【調査対象】市内全ての小中学校の教職員(小31校 中14校)



岩国中校区の4校で、9年間を見通した活動ができつつある。また、小学校同士のつながりが生まれ、かつ持続可能な方法に向けて見直し、改善ができています。



「人は人のシャワーを浴びて人になる」という言葉のように、生徒が様々な大人と関わることが、子供の成長に非常に役立っている。



地域連携教育の推進によって皆さんの意識が高まり、学校の現状について、地域の方により知っていただいていると感じている。それによって行事や日々の交通指導など今まで以上に協力をいただいている。



全教職員と学校運営協議会(学運協)委員、PTA執行部で、本校の課題である学力向上について熟議を行った。地域や保護者が、学習・生活ボランティアとして学校に関わることから始めようという意識が高まった。



子供が地域の方と一緒に活動することを喜ぶとともに、郷土愛が深まっているように感じる。感謝の気持ちから、何か自分にできることはないかと考えるようになった。



地域の方は、まだまだ学校は敷居が高いと言われている。サロンのようなものが学校にあれば、そこを拠点に活動できるのだがと言われるが……。



地域の方に依頼する際、地域コーディネーターさんや学運協委員の方々が連絡係として大変苦勞されている。活動に参加して下さる方が固定化・高齢化している。新しい人材が不足していることが一番の課題です。



生徒数が多いため、授業の中で地域の方と生徒が交流したり、意見を交わしたりする活動ができていない。工夫したい。

地域行事の参加への呼びかけなど公民館などを運営主体にすることで、地域の方(教育力)を高めたい。今は、呼びかけ・参加者のとりまとめを学校が……。

地域連携教育の成果や良くなった点、課題がたくさんありました。人とのかかわりが再開し、各地域で「かかわりづくり」「人づくり」が進んでいるようです。無理なく、無駄なく、楽しい活動を展開し、ゆるやかに繋がっていく心地よさ・安堵感を味わいながら、10年・20年先の子供たちの生きる力を育てていきたいものです。



つながり

大上好久

令和6年6月1日発行

Tel:29-5210

Fax:21-3456



灘小学校

これからの 学校と地域のかかわりは これだ！

文部科学省は、教育振興基本計画の中で「共生社会の実現に向けた教育の方向性」について、次のように述べています。「個人と社会のウェルビーイングの実現の観点からは、保護者や地域住民等が学校運営に当事者として参画するコミュニティ・スクールや、地域住民等の参画により地域と学校が連携・協働する地域学校協働活動を一体的に推進するとともに、地域の多様な人材を活用した家庭教育支援チームの活動を推進していくことが効果的である。」

本号では、学校運営協議会（コミュニティ・スクール）が中核となり、PDCA サイクルを回しつつ、地域学校協働活動の質を高めている灘小学校を紹介します。

※ ウェルビーイングの実現とは …多様な個人それぞれが、幸せや生きがいを感じるとともに、地域や社会が幸せや豊かさを感じられるものとなること

※ PDCA サイクルとは …計画→実行→評価→改善 を繰り返すこと

2年生には竹馬は難しいけど、何度もチャレンジする姿・できた時の歓声が印象的でした。来年もやりましょう。〈学運協委員〉

「コミュニティ・スクール」と「地域学校協働活動」の一体的な推進 【灘小】

Plan

計画（学校運営協議会）

地域の皆さんが、子供をよく知っておられ、我が子のように接して頂いています。子供もとても喜んでます。〈福本校長〉



D.

目的・目標達成に向けた取組



Check

活動に対する評価（学校運営協議会）

社会見学の引率は、疲れました。蚤かご作りは参加が少ないのでやめてもいいのでは？おもちゃ作りの手伝いは楽しいし、必要なら続けましょう。〈学運協委員〉



ミシンの補助は先生がとても喜ばれているし、しめ飾りづくりは社協の皆様と子供、子供同士の関りが深まるのでいいですね。〈学運協委員〉

Action

工夫・改善した取組



学校運営協議会が、連絡の場ではなく、一つ一つの活動が子供にとって価値あるものかを本音で話し合う場となっていました。課題のある子供についての望ましい接し方、教職員の働き方改革等についてもフラクに意見が交換されていました。「コミュニティ・スクール」と「地域学校協働活動」が一体的に推進されています。保護者の方々や多くの教職員に、「学校と地域がつながること」の価値や意味を伝えたいものです。



灘中学校



二次元コードから
閲覧可能です。

答えのない地域課題に 生徒と地域住民が挑む！

文部科学省の調査研究協力者会議等（初等中等教育）の主権者教育推進会議＜令和3年3月31日＞が、「今後の主権者教育の推進に向けて」（最終報告）を出しています。その中で、「初等中等教育段階における取組の充実として、児童生徒にとって身近な社会である学校生活の充実と向上を図ることを目指す児童会活動、生徒会活動やボランティア活動などの活動は、主権者としての意識を涵養する上で大変重要であり、これらの活動の充実を図ることが求められる。」と述べています。

本号では、生徒会と学校運営協議会が一体となり、地域の絆を深めるための具体的な取組を模索している灘中学校を紹介します。

生徒と地域住民が協働して運営する 生徒会運営協議会 【灘中学校】

※本事例は、灘中の井村教諭が中心となり、研究的に取り組まれているものです。

- ① 生徒代表（生徒会執行部、専門委員会委員長）と学校運営協議会委員の話し合い【生徒会運営協議会】＜4月＞
 - ・ 生徒会活動への意見・協力
 - ・ 地域活動への意見・協力
- ② 生徒会運営協議会による保護者対象説明会 ＜4月＞
- ③ 生徒会運営協議会によるコミスク授業（1年生対象）＜7月＞
- ④ 地域の絆を深めるための具体的な取組の計画と実践 ＜6～8月＞
- ⑤ 地域と連携した専門委員会活動 …《活動例》
 - ・ 地域一斉挨拶運動【生活委員会】
 - ・ 地域紹介【放送委員会】
 - ・ 青木海岸一斉清掃【総務委員会】
 - ・ 地域一斉読書の日【図書委員会】など



《共通のテーマ》

“地域の方と一緒に、灘の笑顔を創る”

こちらこそ、一緒に
考えていきましょう。
＜学運協委員＞

松脇会長さん、よろしく
お願いします。＜子供＞

PTA 総会の場を
お借りして、地域
の方と一緒に取り
組む生徒会活動
について説明し
ます。＜子供＞

いつも皆様の子供
さんに元気をもらっ
ています。
灘地区の子供の学
びと成長を応援する
「みんな元気 Da
ネット」や生徒会と
協力して、灘地区の
笑顔をつくってい
きたいと思います。
＜学運協委員＞

地域の皆さん
は全てボラン
ティアです。
なぜ、皆さん
のために活
動してくださ
るのでしょ
うか？
＜井村教諭＞

見たことのある方だな。お世話
になっているのだな。＜保護者＞

地域の人の思いに触れて、心が温かくなった。地域
のために自分ができるとは何かを考えたい。＜子供＞

自分の子供のように
思ってください
いるんだな。＜子供＞



「生徒をコミュニティ・スクールの運営者に」という思いを、生徒会活動を地域に開くことを通して実現しようとしています。学運協のメンバーも、前向きに喜んで取り組んでいました。生徒にとって、課題解決的な活動であり、異質な人との協働活動ともなっており、自己有用感や他者理解、自立心などが育まれることが期待されます。



米川小学校



二次元コードから閲覧可能です。

農業体験を中心に 地域とともに歩む学校！

文部科学省は、小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総則編＜第1章第3の1の(5)体験活動＞の中で、次のように述べています。「児童が生命の有限性や自然の大切さ、主体的に挑戦してみることや多様な他者と協働することの重要性などを、実感しながら理解することができるよう、各教科等の特質に応じた体験活動を重視し、家庭や地域社会と連携しつつ体系的・継続的に実施できるように工夫すること。」

本号では、田園地帯という地域の特性を生かし、地域住民が中心となり学校と協働しながら、カリキュラムの中で、生産活動を継続している米川小学校を紹介します。

大人と子供が、植物を育てる苦勞と喜びを、共に味わう生産活動 【米川小学校】
【5・6年…総合】 米作り <籾蒔き→田植え【田んぼアート】→草取り→稲刈り→試食>

自分たちが考えた絵が、稲で表現できて楽しかった。<子供>

こんな小さな種がおいしいお米になるのだな。<子供>



植え方を説明できる人いるかな。<学運協委員>

13年前、第1回目の田んぼアートをしました。今日は喜んでお手伝いします。<卒業生>

【3・4年…総合】【1・2年…生活科】種から育てる野菜づくり

<夏> さつまいも、きゅうり、なす、ピーマン、トマト、トウモロコシ、ツルレイシ、枝豆…
<冬> レタス、白菜、黒豆、ねぎ、ブロッコリー、大根、かぶ、キャベツ、じゃがいも

去年教えてもらったので分かります。植え方を説明します。<6年生>



知ってるよ。ずっと見てたもん。<子供>

3月に植えた種イモから伸びたつるです。<地域住民>

マルチを敷くと野菜の成長が順調だね。嬉しいね。<子供>

地域の皆さんと一緒に作った野菜や米の料理は、子供にとって最高に美味しいようです。<教職員>

【園芸委員会+全校】土を作り、種から育てる花づくり

<夏> マリーゴールド、サルビア、百日草、ポーチュラカ… <冬> パンジー、ビオラ、葉ぼたん、ノースポール…

ポットに植え替える作業、子供はよく頑張るね。<地域住民>



草や落ち葉を使い、微生物の力を借りて作った土はホカホカで栄養たっぷりだね。<子供>

多様な知識と経験を持った地域住民と、時間と空間を共にしながら、長年にわたって活動しています。生命の尊さや自然への親しみ、粘り強く挑戦する大切さ、他者と協働する楽しさ等が、体験的に理解できています。





岩国市教育委員会



二次元コードから
閲覧可能です。

地域連携教育は 子供の心に何を残すのか!?



文部科学省は、“教育振興基本計画”（令和5年6月16日閣議決定）の中で、次のように述べています。「日本社会に根差したウェルビーイングの要素としては、“幸福感（現在と将来、自分と周りの他者）”“学校や地域でのつながり”“協働性”“利他性への理解”“自己肯定感”……等が挙げられる。これらを、教育を通じて向上させていくことが重要であり、その結果として特に子供たちの主観的な認識が変化したかについてエビデンスを収集していくことが求められる。」

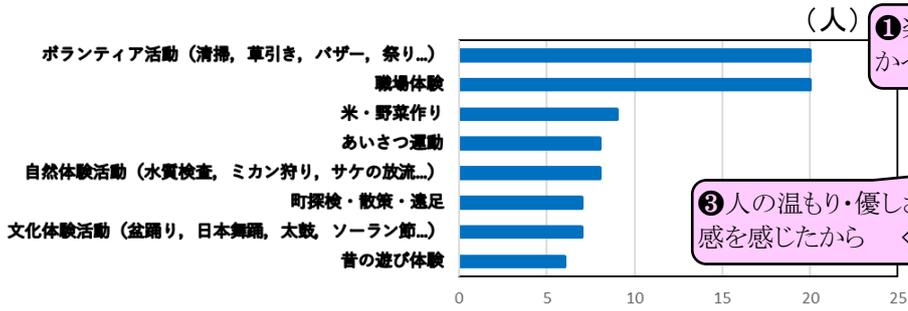
本号では、「地域連携教育」について、岩国 YMCA 保健看護専門学校 保健看護学科 1年生対象に行った講義における学生の声を紹介します。 ※ エビデンス…根拠, 証拠, 裏付け, 客観的事実

学生から見た 地域連携教育の魅力や心に残る活動とは！

【講義の内容】 ① 地域連携教育って何？ ② 何をやるの？ ③ どのように進めるの？

④ これからの地域連携教育の 向かう方向とは？ <受講生は30人 アンケート回収率100%>

小・中・高等学校で、地域の方と、学校や地域で学んだことで、 どんなことを覚えていますか？



① 楽しかったし、嬉しかったから <学生>

③ 人の温もり・優しさ・親近感を感じたから <学生>

どうして、その活動を覚えて
いるのですか？

② 新しいことを知ったり、
できるようになったりしたから
<学生>

小学校の先生が足りない時、
地域の方がボランティアして
いることを知った。とても
優しいと感じ、心が温かくな
った。 <学生>

地域の文化や伝統はもち
ろん、住人も支えているの
だな。 <学生>

地域学校協働活動は幅
広いな。この活動があった
から、今までの学校生活が
楽しく充実したものにな
ったのだな。 <学生>

地域の人と話し合うことで、
町の課題の解決策が生まれ、
良い地域づくりができるな。
<学生>

地域学校協働活動の仲間
分けをしてみてください！

様々な小中学校で、子供たちのために、保護者や先生、地域の方がサポートしてくださっていることを、小さい時はあまり考えないで楽しく学んでいましたが、今回の講義で改めて知ることができ、感謝の気持ちでいっぱいになりました。私も何かできることがあればしたいなと思いました。これからたくさんの人と関わって、新しい発見をし、人とつながることで幸福感を感じていきたいです。 <学生>

コミュニティ・スクールの取組は、楽しかった記憶として今も残っています。地域の人と関わることは、色々な年代の人や価値観があるので、色々な視点から考えたりする力が身に付くと思います。活動一つ一つに意味もたくさんあって子供も大人も一緒に成長できると思いました。 <学生>

地域連携教育を受けてきた20歳前後の学生の声を聴いて、自己肯定感、他者肯定感、地域肯定感、自律心など「これからの社会をたくましく生きる力」を育む上で地域連携教育は有効であると思いました。





つながり

大上好久

令和6年8月1日発行 Tel:29-5210 Fax:21-3456



岩国市中央公民館
通津分館



二次元コードから
閲覧可能です。

公民館が 中学生の学びの場に!?



文部科学省は、「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について（中教審 答申）」〈平成30年12月〉で「多様な主体との連携・協働の推進」の具体的方策として、次のように述べています。「児童生徒が実社会・実生活の中から主体的に課題を見付け、その解決に向けて学びを深め、実践することを重視する観点から、公民館や図書館、博物館等の社会教育施設を『総合的な学習の時間』で、積極的に活用し、子供たちが地域の中で活動しながら学ぶ機会を充実する。」

本号では、乳幼児親子を対象とした「ふれあい学級」を、中学校の家庭科の学習とコラボさせ、公民館を会場として実践している岩国市中央公民館 通津分館を紹介します。



学校との連携・協働を強化し、地域学校協働活動の拠点を目指す 公民館！

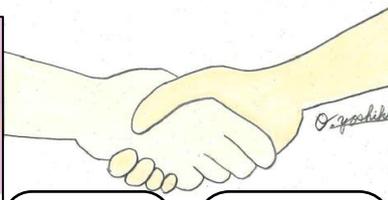
ふれあい学級
通津中学校の
お兄ちゃんお姉ちゃんと一緒に
楽しく遊ぼう！

通津中学校のお兄ちゃんお姉ちゃん、1人1人丁寧な声かけ、笑顔、お話を聞いてくれます！

日時 7月9日(火)
10:00~11:30

場所 通津公民館 2F 集客室
対象 未就園児と保護者
持参物 お子さんの着物やタオル等各自必要な物
(保護者の持ち物)

通津市 中央公民館 通津分館 ☎39-1025



「育児に関する知識の習得と母親支援」のための公民館講座

「幼児の生活と家族」について学ぶ中学3年生の家庭科の授業

5 私たちの成長と家族・地域

1. 地域の歴史と文化
2. 地域の産業と経済
3. 地域の社会と福祉
4. 地域の環境と自然
5. 私たちの成長と家族・地域



【通津中学校】

エプロンシアター、喜んでもらってとても嬉しかった。
〈中学生〉

学校では、乳幼児の体や心の発達、接し方等について教科書で学びました。上手く接することができるか不安でしたが、母子保健推進員やお母さんたちのおかげもあり、中学生はしっかりと触れ合えました。体験を通しての学びは最高でした。 〈担当教諭〉

【岩国市中央公民館 通津分館】



中学生が、優しく、上手に遊んでくれて有難かった。いつもは一人で育児なので… 〈保護者〉



やっと抱っこできた。とても柔らかいな。
〈中学生〉

新聞プール、大喜びの子もいるけど、怖がる子もいるんだな。
〈中学生〉



中学生37人に対し、親子10組が集まりました。母子保健推進員や由宇保健センターのご協力で、親子にとっても有意義な講座となりました。〈安部 社会教育指導員〉



社会教育の中核を担う公民館施設を、学校教育の場として提供し、乳幼児への温かいかわりを演出することで、幅広いつながりが生まれていました。中学生にとっては人間としての成長、自己実現につながっていく活動であり、保護者にとっては中学生の姿がわが子の成長への期待へとつながっているようでした。「人づくり」「つながりづくり」が「地域づくり」に発展していく可能性を感じました。





つながり

大上好久

令和6年8月15日発行 Tel:29-5210 Fax:21-3456



美和小学校



二次元コードから
閲覧可能です。

伝統芸能の復活が 地域を活性化!!

文部科学省は、小学校学習指導要領解説「総合的な学習の時間編」で、各学校が定める学習内容について、次のように述べています。「全ての地域社会には、その地域ならではのよさがあり特色がある。古くからの伝統や習慣が現在まで残されている地域、地域の気候や風土を生かした特産物や工芸品を製造している地域など、様々に存在している。…これらの特色に応じた課題は、よりよい郷土の創造に関わって生じる地域ならではの課題であり、児童が地域における自己の生き方との関わりで考え、よりよい解決に向けて地域社会で行動していくことが望まれている。」



本号では、教職員と地域住民と子供が思いを一つにして、地域の伝統芸能を復活させようとしている美和小学校を紹介します。

伝統芸能を生かし、新しい学校としてスタートした 美和小学校！

「龍王おどり」は3年前、統合前の美和東小の時に復活させました。地域の熱い思いを子供たちがしっかりと受け止めています。「秋掛太鼓」は、昨年度作成した新しい教育課程に位置付けた長い歴史と伝統を持つ地域の文化財です。神楽も合わせ5・6年生が探究的に学んでいます。

<西浦 校長>



「龍王さま」に雨乞いし、願いが叶って感謝の踊りを奉納する様子を表現するんだよ。

<地域住民>

「秋掛太鼓」は、地域の神社や祭りにおいて、地域の豊作祈願や悪霊退治のために演奏されたんだよ。力強いリズムと独特の演奏スタイルが特徴だよ。

<地域住民>

休み時間も練習しています。新しい美和小のみんなで、気持ちも新たに地域の魅力を発信します。

<子供>

「ハーモニーみわ」で行われるこども芸能大会にも出演します。楽しみです。

<子供>

美和東小でも踊ったけど、今年は去年と違う楽しさがあるな。

<子供>

地域の皆さんの演技は力強さがあり、大きな動きがあり、一体感があってとてもかっこいいです。

<子供>

秋掛太鼓に14人、龍王踊りに20人、自分たちの希望で決めました。太鼓は迫力があり、とても楽しいです。

<子供>



秋掛太鼓の演奏については、校長先生が、子供たちと美和町にあった6つの校区を“校区1周ウォーク(道のり30km)”で歩いて回っている時、「大人(後継者)ができなくなって困っています」という声を聞き、実現したそうです。地域の伝統芸能を学習として教材化し、地域住民を指導者としてすることで、人づくり・つながりづくりが深まっています。地域のイベント等で演奏・演技することで、地域の活性化にも大いに貢献しています。



つながり

大上好久

令和6年9月1日発行 Tel:29-5210 Fax:21-3456



岩国市教育委員会



二次元コードから
閲覧可能です。

そ~だったのか 地域連携教育!?

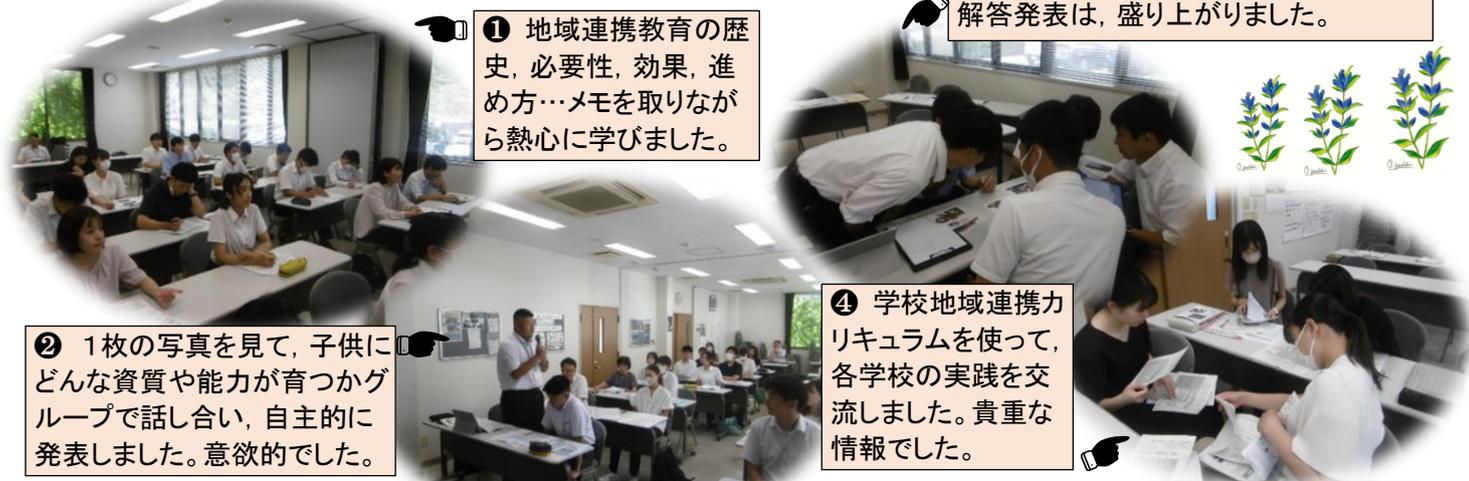
文部科学大臣の諮問機関である中央教育審議会が、平成27年12月の答申で、“学校と地域の連携・協働の必要性”を次のように示しています。

「学校は、全ての子供たちが自立して社会で生き、個人として豊かな人生を送ることができるよう、その基礎となる力を培う場であり、子供たちの豊かな学びと成長を保障する場としての役割のみならず、地域コミュニティの拠点として、地域の将来の担い手となる人材を育成する役割を果たしていかなければならない。一方、地域は、実生活・実社会について体験的・探究的に学習できる場として、子供たちの学びを豊かにしていく役割を果たす必要がある。」

本号では、岩国市教育委員会が、これからの教育を担う採用2,3年目の教職員を中心に行った“地域連携教育研修会”での受講生の声を中心に紹介します。

地域連携教育の魅力や可能性を学んだ 岩国市夏季研修講座

③ 8枚のいろいろな活動の写真を6つの仲間に分けました。真剣そのもの！
解答発表は、盛り上がりました。



① 地域連携教育の歴史、必要性、効果、進め方…メモを取りながら熱心に学びました。

② 1枚の写真を見て、子供にどんな資質や能力が育つかグループで話し合い、自主的に発表しました。意欲的でした。

④ 学校地域連携カリキュラムを使って、各学校の実践を交流しました。貴重な情報でした。



少し取っ付きにくい印象があったが、受講後はやってみようという気持ちが一番くる程、地域連携教育の印象が大きく変わった。ユーモアを交えたお話や参加者同士の情報共有が多くあり、他校の取組を学ぶことができた。



どこの学校も、地域連携教育が業務負担であるという先生方の感覚があることが分かった。既存のものに地域の方に関わっていただくなど、地域が関わることで、より効果的なもの、業務軽減につながるものに変えていけるような視点で連携したいと思う。



地域連携について今回学んだことを生かし、子供が何年たってもいつか戻ってきたくなるような魅力的な地域づくりや、思いやりのある人づくりなどが必要なのだという認識を持って、子供に接したいと思った。



子供たちの教育には、どこか一つの組織だけが担当するのではなく、多様な組織が連携して行うことが重要なのだと改めて実感した。負担軽減だけでなく、色々な知識や技能を持った人が協力することで、新たな発見をし、多様な資質・能力を大人も子供も身につけることにつながると思った。自分たちの学校でも、積極的に地域連携を図り、子供の成長に繋げていきたい。

地域連携教育について、正直、教員のしがらみが増えるものという印象を持っていた。しかし、今回の研修で学校の困り感を地域が解決してくれる事例も知った。うまく活用することで、学校課題を解消しながら、子供たちに豊かな能力を身につけさせることが可能になると感じた。これからは「地域住民と教師の共通の願いや思いから生まれる地域学校協働活動」を目指したいと思った。



「つながり」は、強制すると「面倒くさく」なるし「こじれる」と言われています。これら乗り越えるには、「楽しさ」「面白さ」「問題や課題の共有」が必要です。子供の今と10年先・20年先の幸せのために、学校と地域が手を携えることで、共に楽しさや喜び、心地よさが感じられるものを一緒ににつくっていききたいものです。





岩国市中央公民館
御庄分館



二次元コードから
閲覧可能です。

公民館が 学力向上の場に!!

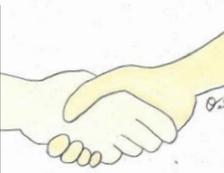
文部科学省は、「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について（中教審 答申）」〈平成30年12月〉で「新たな社会教育の方向性」の具体的方策として、次のように述べています。「住民の主体的な参加のためのきっかけづくりという観点から、特に、幅広い地域住民等の参画により、地域と学校が共に手を携え、地域の子供たちの豊かな学びや健やかな成長と、地域活性化の双方を目指す“地域学校協働活動”は、全ての地域で実施が望まれるものである。」

本号では、御庄小学校の児童を対象とした「夏休み子ども学習教室」を、地域住民や卒業生を指導者として招聘し、公民館を会場として実践している岩国市中央公民館 御庄分館を紹介します。

学校との連携・協働を強化し、地域学校協働活動の拠点を目指す 公民館2!

御庄小児童対象
夏休み子ども学習教室
日時：令和6年7月26日(金)&29日(月)
(低学年) (高学年)
何れも9:30~12:00
(*児童は10:00~11:30)
場所：御庄公民館1F講堂
講師：ボランティアの皆様
お願い：熱中症予防に飲物持参

**【岩国市中央公民館
御庄分館】**



久しぶりの開催
で不安もありま
したが、小学生の
皆さんは熱心に
学習し、ボラン
ティアは丁寧に教
えてくれました。



【御庄小学校】

今年は、低学年は17名、高学年は9名参加しました。参加者・ボランティアの募集、当日の運営、会場準備等、全て公民館がして下さいました。本当にありがたく思います。学力向上にもつながっています。参加した本校職員も大変、感謝しておりました。

＜野村 校長＞

平成27(2015)年から始めました。コロナで中断しましたが、今年から再開しました。学習ボランティアは、地域住民、中学生、高校生、小学校の先生です。

＜藤田 社会教育指導員＞

部活は昼からなので来ました。小学生に喜んでもらって嬉しいです。＜高校生＞

〇〇ちゃんだ。受付はここよ。好きなところに座ってね。＜中学生＞

答えを教えずに、ヒントを出すのは難しいけど、楽しいです。＜中学生＞

分からないことも、気軽に聞けます。優しく、分かるまで粘り強く、教えてくれるのでとても有難いです。＜小学生＞

ボランティアは、社会貢献にもなるし、大学進学や就職にもプラスになり、やりがいがあります。＜高校生＞

なるほど、そうやってやるのか。知らなかったけどよく分かったよ。＜小学生＞



社会教育指導員さんが、小学校の水泳教室の情報を聞き、調整して子ども学習教室の日を決定されたとお聞きしました。社会教育と学校教育がお互いの存在を尊重しながら、一体となって子どもの学びを保障していました。小中学生、高校生を含む地域住民の心の「つながりづくり」、教え合いを通しての「人づくり」がなされ、「地域づくり」にも貢献していると感じました。





由西小学校



二次元コードから
閲覧可能です。

熟議を楽しみ 地域を学び 地域みんなを幸せに!?

文部科学省は、「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた 学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進施策について (中教審 答申)」<平成27年12月>で「地域における学校との連携・協働の意義」を、次のように述べています。「…今後は、子供たちを社会の主体的な一員として受け入れ、子供も大人も、より多くの、より幅広い層の地域住民が参画し、地域課題や地域の将来の姿等について議論を重ね、住民の意思を形成し、様々な実践へつなげていくことが重要である。」

本号では、3年間にわたって、子供の思いや考えを受け入れながら、地域課題の解決に積極的に取り組んでいる由西小学校を紹介します。

由西地域の特色に合った ウェルビーイングの実現を目指す!

【令和4年度】…テーマ「由西の良さや課題をさぐる」

【令和5年度】…テーマ「由西の良さを たくさんの人に知ってもらおう」

②地域住民のガイドで、地域のよさである歴史、食べ物(果樹、野菜等)、生き物を調査



①由西の良さを、子供、地域住民、教職員で熟議



③見つけたことをマップにまとめ、多くの方に配布して、由西地区の良さをアピール

【令和6年度】…テーマ「大好きなふるさと由西地域を元気にするために、自分たちができること」

「由西まつり」をします。

A…サツマイモの売り方は?

B…会場は、どこがいい?

C…宣伝方法は、どうする?

D…どんな出店がいい?

※ 皆様のアイデアをお願いします!!



会場は、学校か由宇温泉辺りが、人が集まりやすいと思います。 <小学生>

地域のイベントに、1ブースもらって参加するのも宣伝になるのでは!! <地域住民>

地域の皆さんにはいつもお世話になっています。たくさんの方のアイデアも頂きました。今年是由西小まつりではなく「由西まつり」です。一緒に由西を元気にしましょう。 <関本 校長>

子どもなりに、よく考えているな。発表も堂々としているな。 <地域住民>

出店は、魚釣りや輪投げがいいと思います。 <小学生>

お芋には、お手紙をつけて渡したいと思っています。 <小学生>



子供参加の熟議も3年目を迎えています。子供も地域住民も教職員も、本音で本気で話し合っていました。子供の意見を尊重しながら、実現可能で有意義な活動となるように発言している大人の姿が印象的でした。地域課題の解決に向けた継続した取組に、「学校を核とした地域づくり」の可能性を感じました。



玖珂小学校



二次元コードから
閲覧可能です。

学校が 地域住民の居心地の良い 場所に！



文部科学省は、「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた 学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進施策について(中教審 答申)」<平成27年12月>で「地域における学校との協働による活動の充実」を、次のように述べています。「学校は、子供たちの学習・生活の場であるのみならず、地域コミュニティ形成の核となったり、災害時に地域住民の避難所となったりと、多様な役割を担っているものである。…学校施設を整備する際には、地域への開放を前提としたコミュニティスペースを設けることや…日常的に地域住民が集う地域コミュニティの拠点となるものにすること…。」

本号では、コミュニティルーム等を、積極的に地域に開放している玖珂小学校を紹介します。

地域住民が 気楽に 手軽に 楽しく 活用できるコミュニティルーム等

木曜日の10時から、日常会話や手話歌をしています。大人も子供も見学OKです。
<地域住民>



毎月1回、お茶を飲みながらおしゃべり、ゆる体操などを行っています。特別支援学級の子供も参加してくれます。<地域住民>

毎月1回、午後の時間にクラスに伺い、読み聞かせをしています。練習や休憩に部屋を活用しています。
<地域住民>



手話サークル「こだま」

町内75歳以上の独居の方に絵手紙を届けたり、イベント出店したりしています。毎月1回、ルームで自主制作しています。
<地域住民>



にこにこカフェ玖珂

毎月1回、家庭科室と多目的スペースを活用し、食事やレクリエーション、工作、コンサート等を提供しています。<カフェ代表>



「がっち」読み聞かせ

放課後や休日、長期休業中に活用しています。利用団体に楽しい活動を提供していただくことがあります。
<指導員>



玖珂町絵手紙クラブ

市役所に展示する作品づくりや、クラブ活動で子供たちと絵画やボードゲームを楽しんでいます。
<クラブ代表>



絵画クラブ

家庭科室で「親子クッキング」「サツマイモクッキング」(R7年再開予定)のお手伝いをしています。子供の笑顔が最高です。
<支部代表>

放課後児童教室



おひさまカフェ(子ども食堂)

食生活改善推進協議会 玖珂支部



地域住民用の靴箱のすぐ傍にコミュニティルームを設置、部屋の中に湯茶の用意ができる給湯室を設置、週休日等にも利用できる機械警備の別回路設定、借用手続きの簡略化など、地域住民が活用しやすい工夫が施されています。楽しい活動を通して、住民同士や子供との関わりを深める「居心地の良い場所」となっていました。



つながり

大上好久

令和6年11月1日発行 Tel:29-5210 Fax:21-3456



岩国中学校



二次元コードから
閲覧可能です。

大規模校で 9回目を迎えた 地域交流！



文部科学省は、教育振興基本計画（令和5年6月16日閣議決定）の中で、“社会教育を通じた持続的な地域コミュニティの基盤形成”を掲げ、次のような課題を提起しています。「地域において人々の関係を共感的・協調的なものとするためには、社会教育による『学び』を通じて人々の『つながり』や『かかわり』を作り出し、協力し合える関係としての土壌を耕しておくことが求められる。」

本号では、学校・家庭・地域が連携した世代間の交流活動を通して、地域の将来を担う子供たちの豊かな心を育てている “岩国中学校と岩国市中央公民館共催の地域交流活動”を紹介します。

学校の思いと 公民館の思いが 寄り添い合って 実現！

◎ 1年生(約190人)が、総合学習で、公民館共催クラブ(7団体)や未就園児中心の親子サークルと交流しました。

太極拳 <岩国太極拳クラブ>

フラダンス <レイフラワー・モキハナ岩国>

華道 <草月華遊び>



生徒さんに玄関で迎えていただいたり、先生に明るく受け入れていただいたり、楽しい時間を過ごせました。<地域住民>



毎年、中学生と体を動かすことを楽しみにしています。<地域住民>

難しいところもあったけど、とても楽しかった。<中学生>



俳句 <対岸俳句会>

演劇 <劇団のんた>

ボクササイズ <ミットクラブ>



季語を考えることも、カルタとりも、どれも楽しかった。<中学生>



「わっしょいわっしょい」、お腹から声を出して楽しかった。<中学生>

平日は、みんな仕事をしているので、協力者を集めるのに苦労しました。<地域住民>

避けてパンチするとところがとても面白かった。<中学生>



華道 <師木野生花クラブ>

家庭教育事業 <ぴよぴよ広場>



子供の感性、独創性にはいつも驚かされます。見ていてとても楽しいです。<地域住民>

ぴよぴよ広場へおいでよ！
 中学校のお兄さんとお姉さんと一緒に遊ぼう！
 In 岩国中学校

10月2日(水)開催です！
 ☆☆☆ 中学生とあそぼう！ ☆☆☆
 今回は中央公民館を飛び出して、岩国中学校の教室であそぼう♪
 中学生のお兄さん・お姉さん「いっしょにあそぼう♪」ってまわっていますよ！

日時…10月2日(水)10時~11時
 場所…岩国中学校 教員待合室(2階)
 集合時間…9時50分、校門前(土佐大学前)集合
 駐車場…岩国中学校グラウンドに用意
 定員…15名(先着順)
 内容…エビごの手のあそび・折り紙遊び
 中学生のお兄さん・お姉さん・保護者と一緒に♪
 持ち物…お弁当(お弁当は持ち帰り可)、お水
 申し込み…9/4(水)~先着順(土日も可)9/17時まで



赤ちゃんって、新聞プール大好きなんだな。何をしてても可愛いな。<中学生>



9年間にもわたり、公民館と学校が、折り合いをつけながら、子供や地域の人々の「つながり」や「かかわり」を作り続けていることに大きな価値を感じます。今回は学校の要望もあり「ぴよぴよ広場」が新設されたようです。生徒にとっても住民にとっても、興味・関心の高い楽しい活動が、継続の原動力になっています。



つながり

大上好久

令和6年11月15日発行 Tel:29-5210 Fax:21-3456



岩国小学校



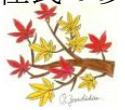
二次元コードから
閲覧可能です。

誰もが子供だった！ 大人と子供が対等に話し合う場！



文部科学省は、小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 特別活動編＜第4章第2の(5)家庭や地域の人々との連携＞の中で、次のように述べています。「特別活動は、各種の活動の機会を捉えて、多様な人々へと交流を広げるようにするとともに、誰とでも温かい人間的な触れ合いができるようにすることなどに配慮して指導計画を作成することが大切である。…例えば、コミュニティ・スクール、地域学校協働活動の枠組みを積極的に活用することも望まれる。」

本号では、児童の自発的・自治的な活動である“代表委員会活動”の話合いに、地域住民の参加を促し、一緒に学校生活の充実と向上を図ろうとしている岩国小学校を紹介します。



テーマ「岩国小学校をより良くするためにできること！」～子供と大人の熟議～

◎ 代表児童約40名、学校運営協議会委員6名、地域住民7名、PTA5名、教職員7名、岩国工業CSサポーター1名
地域学校協働活動推進員1名



児童運営委員です。まず、岩国小の「良いところ」と「困っているところ」を
発表します。良さは伸ばし、課題は良
いところに変えていく方法をグループ
で話し合ってください。 <小学生>

挨拶にポイントを付ければ、やる気
が出ると思います。 <小学生>

子供の意見を聞きなが
ら、思ったことを話せば
いいのだな。～校長
室での事前の説明を聞
いて～ <地域住民>

挨拶は自分の意
思ですものなので、競争するも
のではないのでは？
<小学生>

どちらの考えも一理あるな。子供
もよく考えて発言しているな。感心
してしまいます。 <地域住民>

大人の人との話し合いは初めてで
緊張したけど、岩国小が良くなる
方法を一生懸命考えました。
ワクワクしました。 <小学生>

子供の考えが良くわかります。大人も子供
と一緒に意思表示でき、互いの思いが伝
わり合った感じがします。 <地域住民>

地域の皆さんが、優しく最後まで
話を聞いてくださるので、子供は安
心して発言していました。生き生き
としていました。 <6年担任>

地域の皆さんは、学校にと
ても協力的です。今回の熟
議も学運協委員さんだけ
でなく、岩国地区民生委員
児童委員協議会の方も多数参
加していただき、とても感謝
しています。 <林 校長>



子供と大人が行う熟議の価値は、異質なものと
の出会いにより、新しい見方・考え方が生まれる
ことです。子供の純真で素直な思いや考え、大人
の思慮深く幅広い考え、お互いの良さを認め合っ
ている姿がありました。これからの「学校づくり」を、
子供自身、教職員、地域住民が共有しているよう
に感じました。





つながり

大上好久

令和6年12月1日発行 Tel:29-5210 Fax:21-3456



由宇中学校



二次元コードから
閲覧可能です。

心のこもった 運動・スポーツで 地域を元気に!!

文部科学省は中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総則編の中で、「家庭や地域社会との連携及び協働と世代を超えた交流の機会(第1章第5の2のア)」を取り上げています。その中で、「都市化や核家族化の進行により、日常の生活において、生徒が高齢者と交流する機会は減少している。そのため、学校は生徒が高齢者と自然に触れ合い交流する機会を設け、高齢者に対する感謝と尊敬の気持ちや思いやりの心を育み、高齢者から様々な生きた知識や人間の生き方を学んでいくことが大切である。」と述べています。

本号では、楽しい運動・スポーツで、高齢者を笑顔にしている由宇中学校を紹介します。

学習支援に対する感謝の気持ちが 地域貢献へと発展!!

○ 文化祭「ふれあい講座」(17講座)として、特技を有する地域住民から、色々な知識や技能を学んだ生徒が、学びの成果を地域の方に還元したいと「高齢者サロン」でのスポーツ交流を提案しました。

【令和5年9月】高齢者サロンを見学 <代表2名>

【令和5年10月】文化祭ふれあい講座 <全校生徒>

琴, フラダンス, 小物づくり, 写真, 木彫り, マジック, フォークダンス, 韓国語, リズムダンス...



中学生と会話する機会が皆無なので、触れ合う場を作ってもらえると嬉しいです。<地域住民>

私たち中学生が皆さんにできることは何ですか? <中学生>

このリズムダンス, 高齢者にお見せすると、喜んでもらえるのでは? 体力測定やレクリエーションと一緒にやってみよう。<中学生>

【令和5年12月】高齢者サロン(中村集会所)で交流 <有志生徒>

8の字ペットボトル, ゴルフボーリング
トイレットペーパータッチ.....

孫は遠くにいて日ごろ話す機会がありません。今日はいっぱい話せましたし、ゲームがとても楽しかった。有難いひとときでした。<地域住民>

高齢者と関わる機会が減ったので、一緒にレクリエーションができて嬉しかったです。<中学生>

いつもは高齢者が企画運営するのですが、今回は中学生がレクリエーションを準備し、みんなを楽しませてくれました。<地域住民>

【令和6年7・8月】2つのサロンで交流



高齢者サロンでの様子が、新聞や「社協だより Yuu ゆう」に掲載されました。生徒の心のこもった活動を知り、今年は2ヶ所の「ふれあいいきいきサロン」から依頼がありました。生徒は大変喜び、さらに自分たちで活動を工夫して交流に臨みました。生徒の優しさや逞しさといった人間性の高まりを感じました。<田山 校長>



「心から楽しめた」また中学生に会いたい」「可愛い若者と交流できて若返ったようだ」...高齢者の言葉が、この活動の価値を物語っています。時間と空間を共有し、活動を共にする中で自然と会話が交わされ、それぞれの思いが伝わり合い、両者にとって生きるエネルギーとなっていました。





岩国市HP



つながり

大上好久

令和6年12月15日発行

Tel:29-5210

Fax:21-3456



二次元コードから
閲覧可能です。

顔の見える関係が 信頼感を高める!!



文部科学省は、「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた 学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進施策について」(中教審 答申 平成27年12月)で「地域に信頼される学校づくりの観点」を、次のように述べています。「学校が抱える課題が複雑化・困難化している状況の中、困難な課題を解決していくためには、より一層地域に開かれ、地域と積極的に向き合うことで、地域に信頼される学校づくりを進めていく必要がある。地域住民や保護者等が学校運営に対する理解を深め、積極的に参画することで、学校をより良いものにしていこうとする当事者意識を高め、子供の教育に対する責任を社会的に分担していくことができる。」

本号では、“地域に信頼される学校づくり”に積極的に取り組んでいる修成小学校を紹介します。

具体的な活動を通して、学校と家庭と地域で、子供のよさや可能性を伸ばす

【11/10(日)米川地区農業文化祭】

全校のみんなが、一生懸命に練習しました。家族や地域の方にたくさんの拍手をもらい、緊張したけど嬉しかったです。<小学生>



ステージイベントや作品展示で、修成小、米川小、ながの保育園に祭りを盛り上げてもらっています。周東中もボランティアで活躍してくれています。地域の皆さんが大変喜んでます。感謝です。<中原 公民館長>

公民館サークルの方とフラダンスを踊りました。学校のクラブ活動で教えてもらい、楽しかったので一緒に踊りました。うまく踊れてよかったです。<小学生>

アイデアいっぱいの「おもちゃ広場」でした。<地域住民>

【11/17(日)三世代ふれあいフェスティバル】

いつも招待いただきありがとうございます。郵便局としても、学校のためにいつでも協力します。何でも言ってください。<西長野郵便局>



食生活改善推進員さんやお家の人に手伝ってもらい“豚汁”をふるまいました。喜んでもらえたかな。<小学生>

じゃんけん列車、震源地あてゲーム等、どれもとても楽しかったです。地域の皆さんも喜んでくれてよかったです。<小学生>

安全面での見守り、学習支援…地域の皆さんは献身的です。学校や子供への愛情の深さをひしひしと感じます。子供たちは感謝の気持ちを伝えようと頑張りました。<梶田 校長>

地域住民(地域)と家族(家庭)と教職員(学校)が、思いや考えを通わせながら、子供の学びや成長を支えています。子供の学びの場を、学校だけでなく地域に広げたり、子供の学びの場である学校に地域住民を迎え入れたり、人も場所も融合しています。まさに、“地域とともにある学校”となっています。





つながり

大上好久

令和7年1月1日発行 Tel:29-5210 Fax:21-3456



二次元コードから
閲覧可能です。

学校の敷居が低くなった!? 地域活動への学校開放!

文部科学省は、「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた 学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進施策について (中教審 答申)」<平成27年12月>で「地域における学校との協働による活動の充実」を、次のように述べています。「学校内の施設で活動を行う方が適当と考えられるものについては、①施設整備面での工夫、②余裕教室の活用など施設の有効利用を図ることによる工夫、③施設管理面での管理責任等の課題の解決を図るための工夫について、教育委員会が主体となり、学校や地域協育ネット等と積極的に連携・協働して解決策を見いだすことが求められる。」

本号では、地域住民の体力・心の活力・認知機能向上を目指す活動<県レクリエーション協会主催>に対して、学校施設を開放している平田中学校を紹介します。

全11回にわたり 学校施設を活用して開催した「健康スポレクひろば」<平田中>

【第2回 9/26(木)】

体操やポールウォーキングの基礎は、室内で教えてもらいました。<地域住民>

最後は、エアコンの効いた調理室で脳トレにもなるゲームを楽しみました。<地域住民>



広い校庭の日陰を使わせてもらって実際のポールウォーキングを楽しみました。<地域住民>



プレハブ倉庫を使えるように改修したり、国際交流支援員や英語教諭と交流させてくれたり、校長先生には、とても感謝しています。<三原 会長>



【第11回 11/28(木)】

地域の皆さんには、遠慮なく学校施設を活用していただきたい。生徒との交流も可能な限り実現したい。学校の敷居を少しでも低くし、地域の皆さんと一緒に生徒の成長を見守っていききたい。<白川 校長>

地域の方とのポッチャはとても楽しかった。温かい雰囲気です。居心地が良く「あそこねらったらいいよ」等の教え合いも嬉しかった。<中学生>

日頃、若い人との交流はほとんどなく、本当に楽しかったし、元気が出ました。またやりたいです。<地域住民>

始めは、ルールもこつも分からなかったけど、とにかく楽しかった。<中学生>

学校が、子供たちの学習や生活の場だけでなく、地域住民が集う地域コミュニティの場となり、子供と大人の交流も生まれています。生徒の言葉「ぶち楽しかった」「とにかく、一緒にいるだけで楽しかった」が、印象的でした。学校教育と社会教育が一体となった「子供と大人のウェルビーイング」を高める活動だと感じました。





つながり

大上好久

令和7年1月15日発行 Tel:29-5210 Fax:21-3456



本郷小中学校



二次元コードから
閲覧可能です。

学校が 地域住民の 楽しい学びの場に!!

文部科学省は、「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた 学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進施策について(中教審 答申)」<平成27年12月>で、コミュニティ・スクールをはじめとした“地域とともにある学校づくり”の「地域住民にとっての魅力」を、次のように述べています。

- ① これまで学び培ってきたことを生かす機会が得られることで、自己有用感や生きがいにつながる。
- ② 地域の人々が集うことで、学校が、社会的なつながりが得られる場となり、地域のよりどころとなる。
- ③ 地域のネットワークが形成されることで、地域づくりの輪が広がっていく。
- ④ 学校を中心につながった絆は、地域の力を高め、地域の人々に生きがいを与える。

本号では、子供や地域住民に、幅広い学びの場を提供している本郷小中学校を紹介します。

地域住民を対象とした 地域英会話教室を、学校を会場として、定期的<月2回>に開催

農業の傍ら熱心に英会話に取り組んでいるNさんが音頭をとって下さっています。総勢6名です。ALTが笑顔で温かい雰囲気英会話をモットーにしており、ありがたいです。<英語担当教諭>

私の家は、〇〇にあります。写真を見てください。坂道になっていて……<中学生>《英語で、笑顔で、嬉しそうに話していました。》

地域の皆さんが楽しく英会話しておられ、刺激になります。目を見て聞いて下さる優しさも心地よいです。<中学生>

最近の出来事を聞かせて下さい。何をしていますか? <ALT>

山に松茸を取りに行きました。たくさん採れました。クマ出没の影響で山に入る人が少ないのです。……<地域住民>

英語で話すことができる場が、身近な学校にあって本当に良かったです。生徒さんと話せることをいつも楽しみにしています。<地域住民>

地域住民参加の 学習会 IN 留学センター

地域住民参加の 小中合同ユニット型研修

本郷支所の図書室の小中学校のコーナーです。写真がたくさんあり、研修会など学校の様子がよくわかります。頻りに更新しているので、地域の皆さんが楽しみにしておられます。

勉強の様子を地域の人に見てもらえて、教えてもらえる安心感があり、勉強に一生懸命に取り組めます。<小中学生>

道徳の授業で、生徒と意見交換ができ、楽しく参加できた。私も「人を思いやる気持ち」をこれからも大切にしていきたい。<地域住民>

児童生徒が一生懸命勉強に励む姿を見て、とても嬉しかった。元気がもらえる。<地域住民>

学校や留学センターが、地域住民にとって、生涯にわたって学び続ける場となっています。「人生を豊かにするための学び」や「他者との学び合い」が展開されており、子供にとっても大人にとっても、多様性の時代を自分らしく生き抜くために必要な資質能力が育まれていました。効果的で質の高い地域学校協働活動です。





二次元コードから
閲覧可能です。

地域課題への挑戦が 次世代の社会の担い手を育てる！

文部科学省は、「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について（中教審 答申）」〈平成30年12月〉で「学びへの参加のきっかけづくりの推進」の具体的方策として、次のように述べています。「まちづくりの議論の際に、子供から大人まで幅広い世代による熟議を行う。その際、意思決定の過程や具体的な行動への子供の参画を促し、地域と持続的に関わる動機付けとなり得る成功体験を支援する。若者の声やニーズを、若者自身が実際に具現化、実装化することにより、若者の自己有用感を増し、若者たちの参加を引き出す工夫を行う。」

本号では、学校教育の枠を広げ、熟議と地域学校協働活動を連動させながら、子供中心の地域活性化に取り組んでいる錦中学校区を紹介します。



【テーマ】 錦・美川地区を元気にするために 小中学生にできることをしよう！

【令和5年度】 折り鶴プロジェクト…全員で折り鶴を作成し、錦川鉄道に寄贈



多くの人に錦町を訪れて
もらい、自然や文化など町の
魅力を知ってもらいたいです。
〈小中学生〉

大人の方が、地
域活性化に頑張
っておられるお話
を聞いて、自分た
ちにできることを
もっとやりたいと
思いました。
〈小中学生〉

【令和6年度】 5/30 熟議①

〈出てきた意見〉

- ・ゴミを拾いながら散策(スタンプラリー)
- ・集めたゴミで何かを作る
- ・広瀬分校や商店街で鬼ごっこ
- ・野菜や花を錦町駅で配る
- ・店などを紹介する地図を作り貼る……



【令和6年度】 10/31 知ってふるさと ～錦ウォークラリーの旅～



ゴミを拾うことで、錦町をきれいにするこ
とができて嬉しかったです。〈小中学生〉

商店街や周辺施
設を歩きながら、チ
ェックポイントで錦
に関するクイズを
解きました。グルー
プで知恵を出し合
い、楽しく学びまし
た。〈小中学生〉

権現山での落ち葉
アートづくりです。
きれいな色や面白
い形の落ち葉があ
りました。自然がい
っぱいです。
〈小中学生〉

花の寄せ植え、
喜んでもらえて
よかったです。
〈小中学生〉

【令和6年度】 12/11 熟議②

活動を振り返り、よりよいものにするために
修正し、「取組パネル」として、地域に知らせ
る工夫を、地域の方と一緒に考えました。



錦中学校、錦清流小学校、宇佐川小学校の3校は、拡大学校運営協議会(熟議)を活用し、人口減少という地域課題の解決のために、具体的な活動を展開しています。子供が考えたことを実現するために大人がアシストするなど、活動の中心に子供を据えることで、活動意欲を高め、達成感を味わわせ、自己有用感を高めています。



装港小学校



二次元コードから
閲覧可能です。

休校になっても 子供の成長は 地域に住む人の希望!!

文部科学省は、中央教育審議会の答申<平成27年12月21日>の中で、子供たちの教育環境を取り巻く状況を、次のようにとらえています。「現在、児童生徒数の減少や多様化・複雑化する社会状況の変化等を背景に、小・中学校の統廃合や、高等学校の再編・統合が進んでいる。今後、少子化の更なる進行により、学校の小規模化に伴う教育上のデメリットの顕在化や、学校がなくなることによる地域コミュニティの衰退が懸念されており、各市町村の実情に応じた活力ある学校づくりの推進が求められている。」

本号では、本年4月からの休校を前に、人や地域の絆を深めている装港小学校を紹介します。

地域住民との交流会や 中央公民館装港地区と共催の「音遊びコンサート」を 開催

【地域の方との交流会】10/18, 11/13

心のこもったプレゼント、とても
嬉しいです。 <地域住民>

とても楽しかったよ。頑張っ
てくれたね。 <地域住民>

ボッチャ、モルック、伝言ゲーム、クイズなどがありますよ。 <小学生>

これまでお世話になった地域の方々
に少しでも恩返ししたいと、みんな
で考え、準備しました。 <小学生>

【授業参観，家庭教育学級「おんがくこうじょう。音遊びコンサート♪」】1/14

♪君は宝物、誰ひ
とり宝物でない人は
いませんよ。♪♪
<おんがくこうじょう>

昔の遊び体験で、
駒回しが一緒に
できて、よかったです。
<地域住民>

二分の一成人式で、
家族や地域の皆さん
への感謝の言葉を
伝えました。 <小学生>

子供たちの笑顔が見れて嬉しかったです。
私たちも子供と一緒に盛り上がりました。と
ても良い思い出になりました。 <地域住民>

私もコンサートに参加しました。皆
さんにとって、ふるさと“装港地区”
での楽しい思い出になったようで
安心しました。 <梅森 校長>



校長先生の「地域の宝と言われる子供たちが、自分たちから地域の方々に関わろうとする姿勢を、しっかりと支援したい。」という言葉が心に残りました。休校を見据えながら、地域住民や公民館等と連携して、子供を中心に「つながりづくり」「人づくり」「地域づくり」が展開されています。まさに“地域とともにある学校”です。